

教師ノート

日付	2012年 4月 8日
単元	イースター
テーマ	生きておられる主
タイトル	よみがえり
テキスト	ヨハネ 20:11-18
参照箇所	マタイ 28 章,マルコ 16 章,ルカ 24:1-12
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	I ペテロ 1:3b

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

□導入

今日は、イースターです。クリスマスは「メリー・クリスマス！」とお祝いの言葉を言いますが、イースターは何て言うか知っていますか？「ハッピー・イースター」と言うそうです。先生が最初に言うので、その後みんなで「ハッピー・イースター」と言ってみましょう。「ハッピー・イースター！」

イースターは、十字架にかかって死なれたイエスさまが甦ったことを記念する復活祭です。どうして世界中でイースターをお祝いするのでしょうか？世界で最初にイースターの喜びを体験した女性のお話しを読んでみよう。

□ポイント1 マリヤは、泣いていました(11-13)

(1-10節を短く要約) イエスさまは十字架にかけられ、新しい墓に葬られました。その日は金曜日で、3日目の日曜日にマグダラのマリヤが朝早くに墓に行ってみると、墓から石が取りのけられ、なんとイエスさまの遺体がそこにはありませんでした！！ 急いでペテロともう一人の弟子に伝え、2人もお墓に走って行きました。2人はイエスさまの体がなくなっているのを確認し、自分のところに帰りました。

しかしマリヤは、イエスさまの体が盗まれたと思ひ込み、悲しくなり泣きながらもう一度お墓の中をのぞき込みました。すると2人の白い衣を着た御使いがいて「なぜ泣いているのですか」とマリヤに尋ねました。するとマリヤは「誰かが私の主を取っていき、どこに置いたのかわからないのです」と言いました。

□ポイント2 イエスさまが、マリヤに現れました(14-15)

マリヤが後ろを振り返ってみると、何とそこにイエスさまが立っておられたのです！しかしマリヤは、その方がイエスさまだとは分かりませんでした。イエスさまは「なぜ泣いているのですか？誰を探しているのですか？」とマリヤに尋ねました。でもマリヤは、まだイエスさまだと分からず、園の管理人だと思い、「あなたが、あの方を運んだのでしたら、どこに置いたのですか。私が引き受けます」と言いました。

問い: マリヤは、どうして自分の目の前にイエスさまがおられるのに分からなかったのでしょうか？

問い: 私たちもイエスさまがよみがえって今も生きていることを信じているのですが、「本当にイエスさまは生きておられるのかなあ？」とイエスさまのことが分からなくなってしまうことはありませんか？どんな時にそう思いますか？

□ポイント3 マリヤは、イエスさまがよみがえったことを知りました(16-18)

イエスさまは、「マリヤ」と声をかけました。その時、マリヤはイエスさまだとわかったのです。そしてヘブル語で「ラボニ・先生」と言って、イエスさまが死からよみがえったことが分かったのです。マリヤはイエスさまに言われた通り、お弟子さんたちにイエスさまがよみがえったこと、イエスさまが話されたことを伝えました。

問い: マリヤは、どうして目の前にいる人がイエスさまだと分かったのでしょうか? また探していたイエスさまがよみがえり、今、目の前にいることを知り、どんな思いだったでしょう?

問い: 私たちも「イエスさまは生きておられる!」と喜びながら感謝する時があると思います。それはどんな時に「やっぱりイエスさまは生きておられるんだあ」と実感しますか? (祈りが答えられたり、危険から守られたり・・・)

□結論 イエス様は、今も生きておられます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

ここにイースターエッグがあります。新しいいのちのひな鳥が殻を破り誕生する様子を、大きな石が転がされ、死を打ち破りよみがえられたイエスさまのことを象徴して、イースターにはたまごが飾られるようになりました。どんな悲しみも、つらいことも、しんどいことがあっても、よみがえりのイエスさまを信じていく時、新しいいのちをもって生きる力が与えられていきます。

1. 喜びましょう!

マリヤのように泣きたくなる時、ありませんか? 悲しみでいっぱいになって、何が何だか分からなくなることも、みんなにもあるよね。イエスさまは一番悲しい死を打ち破られてよみがえられた神さまで。そのイエスさまが、今朝、私たち1人1人の名前を呼んでおられます。今も生きておられるイエスさまは私たちを助け、励まし、共にいてくださいます。

2. みんなでお祝いしましょう!

マリヤは弟子たちにイエスさまのよみがえりを伝えました。私たちも友だちに「イエスさまがいるから大丈夫。イエスさまはよみがえって、信じる私たちと一緒にいるんだよ」と伝えていきましょう。そして、みんなと一緒にイエスさまの復活をお祝いしましょう。

3. 希望があることを喜びましょう!

死んで終わりではありません。死は悲しいものです。しかしイエス様は、死を打ち破られました。だからよみがえりのイエス様を信じる人は、イエス様と同じようによみがえって、天国でもう一度会えるのです。これが私たちの希望です。ハレルヤ!!